

# maneken 共創考房 in 仙台

日時：3月2日(土)13:30~17:00

会場：東北学院大学土樋キャンパス8号館第3会議室



『大学職員の教職協働・職職協働を考える  
-図書館の学習支援機能に着目して-』

講師：竹内比呂也氏  
(千葉大学アカデミック・リンク・センター長)

主催：大学マネジメント研究会

協力：東北学院大学図書館  
みちのく図書館員連合  
M U L U

# maneken 共創考房 in 仙台

今年度から、マネ研に新しく生まれたワークショップ形式の交流会「maneken 共創考房」の第2回目は、「都 仙台」での開催です。

今回の共創考房は、図書館にフォーカスします。「トショカン」と聞けば、なんとなく敷居が高い、マニアックなど同じ大学職員同士でも別世界の人々が働いていそうな感覚を持ってはいないでしょうか？ そういうあなた、今回のメインターゲットは、あなたたちです！ 一般職員のみなさんこそ、是非参加してください。間違いなく、「目からウロコ」の感激を味わえるはずですよ。

図書館は、学習支援の最先端にあると言っても過言ではありません。本の貸し出しや文献検索だけを行っている場ではないのです。図書館コンシェルジュの配置、図書館職員による論文・レポートの書き方講習会、ラーニング・コモンズやPBLルームの設置などなど、いまや大学が提供するサービスの高度化を競い合う「見本市」のようになっています。このような視点から考えれば、学習支援を担当する教務課、高校生へのアピールを担当する入試課や広報課、少ない予算でより良い大学経営を目指す財務課、外部評価やIRを担当する評価室、優れた施設整備を図る施設課と、どこで働く職員にとっても、トショカンは密接に関わる部署なのです。

自分の大学の図書館を使っていますか？ きっと明日から図書館に行ってみたくなる、そんな会になるとと思います。

## 「大学職員の教職協同・職職協同を考える – 図書館の学習支援機能に着目して –」

- 13:00- 受付
- 13:30- 開会
- 13:40- 基調講演 竹内比呂也氏
- 14:50- トークセッション「一般事務職員から見た図書館員」  
竹内比呂也氏(千葉大学アカデミック・リンク・センター長)  
梅澤貴典氏(中央大学ビジネススクール事務室副課長)予定  
小幡蒼子氏(大正大学教学支援部研究支援課) ほか
- 16:00- 車座ディスカッション  
講師を囲んでざっくばらんに話しましょう！
- 17:00- 閉会
- 18:00- 懇親会

【会 場】 東北学院大学土樋キャンパス 8号館第3会議室  
\* 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

【定 員】 先着 40名

【締め切り】 2月20日(水)

【お申込み】 大学マネジメント研究会ウェブサイトの申込フォームからお申し込みください

【参加費】 共創考房：大学マネジメント研究会会員・大学行政管理学会会員 500円、一般 1,000円  
懇親会 : 一律 4,000円

